

このねとねと

一のいしかあ なまき

みみがさんかくで

けがもふもふ

こんながおで

こんながたで

とてまかあいい

どうぶつなあんだ

こたえはね

このねとねと

りゆうはね

かわいいから

どうしてか

いわれても

ニヤニヤしていうが



はるなつあきふゆ

二の三 まるがま ゆうみ

春はさくらがまんかいで

はるをよぶ

夏はせみがミンミンないて

なつをよぶ

秋は色いろなもみじがさいて

あきをよぶ

その後 冬は雪がふって

ふゆをよぶ

色いろなきせつをよび

つぎのきせつへといく

風

三年

四組

グボズデ

アメリカ

ビュ

ー

ビュ

ー

どうしてとへるのてすか

ビュ

ー

ビュ

ー

あなたはひとかたまりなのか

それともちりぢりなのか

ビュ

ー

ビュ

ー

私には白に見えるけれど

本当は何色なのか

ビュ

ー

ビュ

ー

私を持ち上げてとんでくれますか

出会えた小さな太陽

四年三組

大江

智亜希

待ってよ、いくら

キラキラ光って

小さな真赤な太陽はなくなっ  
た

またいくらはないかな

もう一度食べたいの

へ。タツとくついで

美しいのいくらのお山があっ  
たら

目をアワさることはできない

いつも夕方方に太陽がしずんで行くように

朝にまたもとて来る

いくら、また会おうね

いくら、また会おうね



波

六年

一組

鹿野

七帆

青い波で地球が  
つながる

地球のはじか  
らにはじま  
では

何万もの波で  
つながる

たとえ君が見  
えなくても

たとえ手がつ  
なげなくても

波が君に届け  
てくれる

長い長い年月  
をかけて

思いは伝わる

打ちよせる波  
と共に

青い波で地球  
がつながる

地球の生き物  
から自然ま  
では

何万もの波で  
つながる

たとえ君が知  
らなくても

たとえ君が気  
付かなくても

波が君に伝え  
てくれる

長い長い時を  
こえて

思いは伝える

打ちよせる波と共に